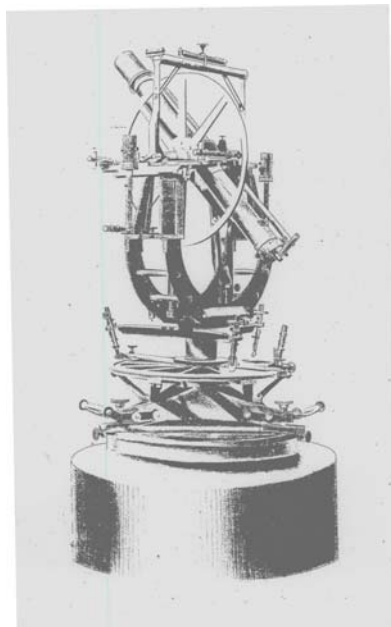
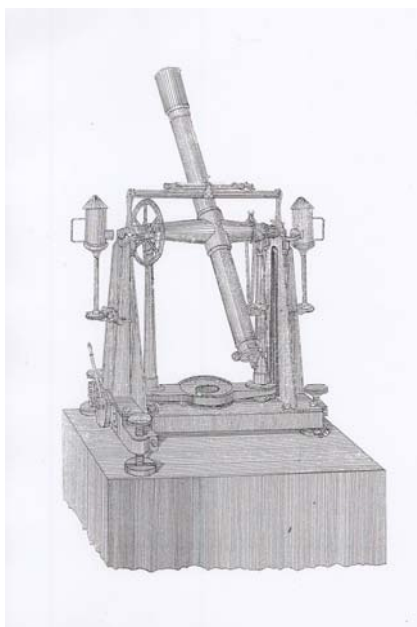


1) 4月8日(火曜日) : 天文情報センターにアーカイブ室に天文学史研究家3人来訪

- \* メンバー : 佐藤利男、武石信之、鳥澤春幸の各氏
- \* 佐藤利男氏 : その天文学史の社会では有名な御仁だそうで、レプソルド子午儀購入時の公文書の所在などを教えてくださいました。
- \* 武石信之氏 : 氏は天文台の歴史に詳しく、1875年製のトロートンの望遠鏡が発見された際、中村士氏に子午儀の情報を寄せた人であり、今回、1875年製のこの望遠鏡の天文経緯儀としての外観図を寄せてくださった方である。下の左の図はトロートン・シムス子午儀、右の図は1875年製トロートン・シムス経緯儀望遠鏡である。



- \* 鳥澤春幸氏 : この方が、TAMAYA 天文経緯儀の架台を持っておられた清水源四郎氏と知り合いで、TAMAYA 天文経緯儀の素性が分かる糸口になる情報を寄せてくださった。
- \* この3人を子午儀資料館、ゴーチェ子午環、自動光電子午環にご案内した。

2) 4月9日(水曜日) :

- \* 26インチドーム暗室倉庫から、中村士氏作製の模擬子午儀架台を持ち出し、子午儀資料館に運んだ。この架台の耳軸の間隔と TAMAYA 天文経緯儀の耳軸の間隔がほぼ同じであったので、仮に TAMAYA 天文経緯儀を載せておこうと思った。しかし、軸の直径が大きく違うので、軸受けを作り直す必要がある。
- \* 26インチドーム1階倉庫に置かれていた「東京天文台」の門標を子午儀資料館に移動した。PMC を国立天文台博物展示場にする際の展示品とするためである。これには異論が予想されるが、今まで誰もアクションを起こさなかったのだから実行させて

もらいたい。

3) 4月10日(木曜日)：レプソルド子午儀の対物レンズ（口径135mm、焦点距離：2140mm）のアダプタリング完成。工場からアダプタリングが出来たと連絡をもらった。さっそく受け取りに行った。

- \* レプソルド子午儀の対物レンズ取り付け：工場に依頼していたアダプターが出来上がったので、さっそく対物レンズを取り付けた。レンズホルダーの取り付け穴と筒先のリングのビス穴がぴったりであったことから、このレンズがこのレプソルド子午儀の対物レンズであることの証拠になる。なお、保管状態のレンズ状態の方がレンズの前後に乾燥剤が入った蓋がついているので、その状態で保管しておいた方がいいかもしれない。
- \* 対物レンズを取り付けたところ、鏡筒の筒先にあった本来のレンズカバーがぴったりとレンズホルダーにはまった。このこともこのレンズがレプソルド子午環のものという証拠の一つになる。
- \* 対物レンズをつけたので、レンズがない状態でバランスが取れていた状態からバランスが崩れた。



- \* アーカイブ室新聞1号でお知らせしたレプソルド子午儀の鏡筒の左右のバランスウエイトではバランスが取れない重さだと思っていたが、実際にこのバランスウエイトを取り付けてもバランスは取れなかった。
- \* 現在の鏡筒の状態は、レンズがない状態でバランスが取れるように、擬似バランスウエイトが取り付けられているので、これを外す必要があるようだ。
- \* レプソルド子午儀の鏡筒の左右のバランスを取るためのバランスウエイトを発見し、本来の位置に取り付けた。左からバランスウエイト、台座、復元したところ。



4) 4月11日:

(1) PZT 見学会をもった。PZT は狭い部屋に細長い望遠鏡が立っているのので、3つに分けて撮影、左から筒頂、鏡筒（陶器：かっこよく言えばセラミック製）、筒底（水銀盤）です。

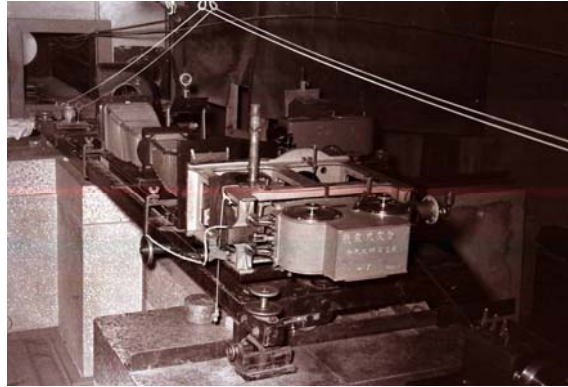


(2) 中村 士氏が作製した子午儀の模擬架台に、TAMAYA 製の経緯儀の望遠鏡部を載せて臨時に展示した。軸の太さが全く違うのでロープで縛って転落しないようにしておいた。



5) 虎尾さんのご遺族から電話：PZTのレプリカを提供くださった虎尾先生のお嬢さんから、遺品の整理をされており、2号官舎時代の品、写真などの提供を考えてくださっています。8月下旬に相談します。これは1号宿舎の絵本之家に展示できるものがあると考えています。

6) 4月14日（月曜日）：入江さんの所に、天文台の古い写真類も沢山あり、その中に太陽関係のモノクロ、オバケなどの写真もあり、中桐が26インチドーム暗室跡の倉庫から回収したカルシウムK線スペクトロメーターの観測時の写真を発見した。下の写真左が、暗室跡倉庫から回収し掃除、手入れをしたもの、右の写真が観測装置につけられた観測状態のスペクトロメーターである。



今回はアーカイブ室新聞 2 号として、ここ 1 週間のニュースを書いてみました。このニュースは随時出していこうと思っています。体裁はだんだん整えます。